

フライングメガドームの もう1種類の住人



わたしたちも
ちょっとだけなら
とべるよ



それは島暮らしの
ジェフロイクモザル



お母さんと、二頭の娘とで暮らしています。仲良しですが、食いしん坊なお母さんが娘たちの食べものまで食べてしまうのが飼育員さんの悩みの種とか。少し時間差をつけて与えるなどして工夫しているそうです。

ジェフロイクモザルのしっぽは、先っぽに毛がなく、指のようにあらゆるものを掴みやすいようにできています。このため「**第5の足**」とも呼ばれています。ロープやバーもしっぽを使って移動するのがみられます。ジャンプも得意なので、活発に動き回る様子は、ずっとみていると飽きません。

クモザルの名前の由来は、虫のクモのように長い手足をもつこと、木の上を器用に動き回ることなどからきています。ジェフロイは発見したフランス人学者の名前です。

飼育員さんは食べものを置くとき、掃除をするときなどは、ボートでクモザルの島に近づきます。メガドームに入って左側にあるのがそのボートです。

よくある 疑問

泳いで逃げないの？

ジェフロイクモザルは中央アメリカの森林に住むサルで、あまり水は好きではありません。泳ぐ気はないようです。

鳥とケンカしないの？

お互いあまり気にしていないようです。ケンカには、なりません。

静岡市協働パイロット事業

制作 いきもの企画 <http://www.ikimono-kikaku.info/>

もっと 日本平動物園 フライングメガドーム が楽しくなる メモ①



ねん がつ にち

なまえ

ショウジョウトキ



ブロンズトキ

トキ科



クロトキ

フライングメガドームの鳥たち

中に入れる鳥カゴとしては、面積・高さともに国内最大級の施設です。鳥の飛ぶ姿、羽音、においなど360度から堪能することができます。

毎日 15:00 から
お魚キャッチタイム
実施中！



カモメ科

インカアジサシ



ツル科

ホオジロ
カンムリヅル

飛ぶのは朝が
多いです



ペリカン科

モモイロペリカン



ツクシガモ



キンクロハジロ



ヒドリガモ



ホシハジロ



カルガモ

ガンカモ科

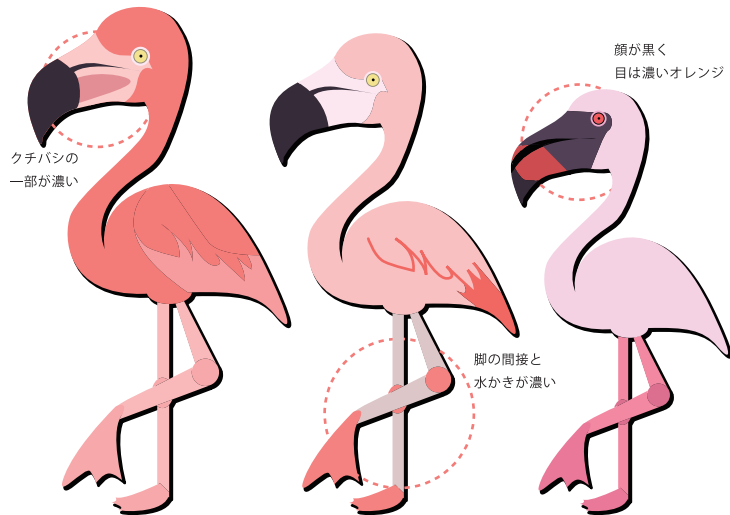


オシドリ

フラミンゴのイロイロ

開園当時からおよそ40年間、日本平動物園の正門でお客さまを迎えていたが、フライングメガドームに移り、より近くで見られるようになりました。

ここにいる3種のフラミンゴを見分けるには、顔と脚をくらべましょう。羽根の色は、鳥によって違いが大きいため、あまり参考になりません。



ベニイロフラミンゴ

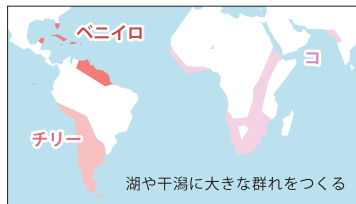
最大140cmになる大型のフラミンゴ。北アメリカに生息するのはこの種類だけ。

チリーフラミンゴ

南米の高山地帯にも生息するフラミンゴ。脚の濃い色のところは、ヒトでいう“かかと”。

コフラミンゴ

最大90cmほどの最小種。世界でいちばん数が多いとされ、その範囲も最大。



フラミンゴに関するよくある勘違い

『片足をあげるのはフラミンゴのポーズ!』
→からだか冷えないように一本足を畳んでおくとか、疲れないように、などの理由が考えられるポーズですが、フラミンゴだけがする行動ではありません。メガドームの中にも、他に片足一本で立っている鳥がいるかもしれません。



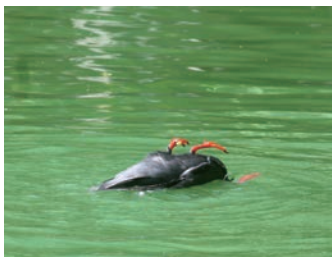
モモイロペリカン 口から首が

フライングメガドームに暮らすモモイロペリカンに奇行がみられた。首をうしろに折り曲げ、上を向いている。くちばしを開くと、中の首の形が丸見えになった。つまり、袋状の皮膚が裏返っている形だ。ペリカンの伸縮性のある皮膚と長い首があるから成せる奇行であろう。



仰向けに浮く インカアジサシ

詳しいことはわかっていないが、インカアジサシに時折みられる行動に、「仰向け」がある。考えられる動機は、背中の中まで清潔に保つためである。



カルガモ熱愛発覚

メガドームのカルガモたちが向き合って首を伸ばしたり縮めたりしている現場を独占キャッチ。♀

♂これはカモの仲間における代表的な求愛行動で専門家の間では「伸び縮み」と呼ばれている。真冬に行われ、春には産卵・孵化する見通し。もしこの行動をみられた方は、その頃再度来園されることをおすすめしたい。



さがしてください

オシドリ (メス)



□ 難易度



派手なオスにくらべ目立たないですが、胸の模様がきれいな鳥です。岸の目立たない木陰にいることが多いです。

ホシハジロ



□ 難易度



一羽しかいないので、みつけるのが大変です。コントラストの強い色合いで、遠くからみると赤と白の二色にみえます。

ヒドリガモ



□ 難易度



ホシハジロに顔が似ていますが、頭に明るい茶色の模様があるので見分けがつきます。この鳥も一羽しかいません。

かぞえてください

鳥を数えてみるのもバードウォッチングの大きな楽しみ。まずは、大きな鳥からいってみましょう。もちろん慣れたら小さい鳥もどうぞ。

カムリヅル



羽

モモイロペリカン



羽

フラミンゴ類



羽

答えはお連れ様や周囲の方同士で照らし合わせるか、納得のいくまで数えてお楽しみください。

トキ類からのお知らせ

トキの仲間 (ブロンズトキ、クロトキ、ショウジョウトキ) は、木の上で休んでいることが多いので入り口からみて反対側にある「観察デッキ」からのほうがお会いしやすいです。

